

ベトナムの選択

著者	寺本 実
権利	Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア 経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp
雑誌名	アジアの出来事
ページ	1-3
発行年	2012-02
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所
URL	http://hdl.handle.net/2344/00049556

ベトナムの選択

地域研究センター寺本 実

現体制下ベトナムの政権党であるベトナム共産党の第11回党大会が、2011年1月12～19日に開かれた。5年に1度開かれるこの党大会の場において、グエン・フー・チョン党書記長ら新たな党執行部が選出されるとともに（表1）、今後5～10年ないしそれ以降にもわたる政治・経済・対外関係に関わる基本方針が定められた。そして、5月22日に実施された第13回国会代表選挙を経て、第13期第1回国会が7月下旬～8月上旬に開催された。同会期では、チュオン・タン・サン国家主席、グエン・タン・ズン首相、グエン・シン・フン国会議長など、国家機構、政府、国会をそれ以降5年間にわたってリードする立場に就く指導者の人事が正式に決められている（表2）。

第11回党大会では、2020年までに基本的に近代志向の工業国になるとの従来からの目標が堅持されるとともに、21世紀半ばまでに社会主義志向に従った近代的工業国になるとの目標が提示された。当局は、これらの目標達成のための土台作りを行う時期として、現段階を位置付けている。そうした文脈のなか、同党大会では今後の基本方針について以下の方針が決められた。(1) 従来からの目標、政治的基本姿勢の堅持、(2) 工業国ビジョンの具体化、(3) 経済成長モデルの転換、(4) 私営企業家の試験的な入党許可、(5) 「新農村建設」の推進、(6) 行革推進（特に行政手続改革）、(7) 「社会保障」の強化、(8) 国防・外交政策の強化、(9) ASEANに対するコミットメントの強化、などである。

以上のような問題について考察することを主眼として、アジア経済研究所では機動研究会(2011年度)という形式の下、「ベトナムの選択—2020年の工業国入りを目指して」研究会が組織された。その成果は『情勢分析レポート No. 17 転換期のベトナム—第11回党大会、工業国への新たな選択—』として刊行されている。

[付記] 上記の内容は執筆者個人に属し、アジア経済研究所の公式見解を示すものではありません。

表1 新しい党役職従事者の顔ぶれ

名前	生年	出身	学歴
党政治局員			
Nguyen Phu Trong (グエン・フー・チョン)	1944年	ハノイ市	博士
Truong Tan Sang (チュオン・タン・サン)	1949年	ロンアン省	学士
Phung Quang Thanh (フン・クアン・タイン)	1949年	ハノイ市	学士
Nguyen Tan Dung (グエン・タン・ズン)	1949年	カマウ省	学士
Nguyen Sinh Hung (グエン・シン・フン)	1946年	ゲアン省	博士
Le Hong Anh (レー・ホン・アイン)	1949年	キエンザン省	学士
Le Thanh Hai (レー・タイン・ハーイ)	1950年	ティエンザン省	学士
To Huy Rua (トー・フイ・ズア)	1947年	タインホア省	博士
Pham Quang Nghi (ファム・クアン・ギ)	1949年	タインホア省	博士
Tran Dai Quang (チャン・ダイ・クアン)	1956年	ニンビン省	博士
Tong Thi Phong (トン・ティ・フォン)	1954年	ソンラー省	学士
Ngô Van Du (ゴー・ヴァン・ズ)	1947年	ヴィンフック省	学士
Dinh The Huynh (ディン・テー・フィン)	1953年	ナムディン省	博士
Nguyen Xuan Phuc (グエン・スアン・フック)	1954年	クアンナム省	学士
党書記局員			
Nguyen Phu Trong (グエン・フー・チョン)	1944年	ハノイ市	博士
Truong Tan Sang (チュオン・タン・サン)	1949年	ロンアン省	学士
Le Hong Anh (レー・ホン・アイン)	1949年	キエンザン省	学士
To Huy Rua (トー・フイ・ズア)	1947年	タインホア省	博士
Ngô Van Du (ゴー・ヴァン・ズ)	1947年	ヴィンフック省	学士
Dinh The Huynh (ディン・テー・フィン)	1953年	ナムディン省	博士
Ngô Xuan Lich (ゴー・スアン・リック)	1954年	ハーナム省	学士
Truong Hoa Binh (チュオン・ホア・ビン)	1955年	ロンアン省	修士
Ha Thi Khiết (ハー・ティ・キェット)	1950年	トゥエンクアン省	学士
Nguyen Thi Kim Ngan (グエン・ティ・キム・ガン)	1954年	ベンチェ省	修士

(出所) 各種資料に基づき、筆者作成。

(注) 本文の文脈に従い、記載順は党大会時資料の順じて記す。

表2 新しい国家機構、国会、政府役職従事者の顔ぶれ

役職	名前	生年	出身	教育レベル
国家機構				
国家主席	Truong Tan Sang(チュオン・タン・サン)	1949年	ロンアン省	学士
副大統領	Nguyen Thi Doan(グエン・ティ・ゾアン)	1951年	ハナム省	博士
最高人民裁判所長	Truong Hoa Binh(チュオン・ホア・ビン)	1955年	ロンアン省	修士
最高人民検察院院長	Nguyen Hoa Binh(グエン・ホア・ビン)	1958年	クアンガイ	副教授、博士
国会				
国会議長	Nguyen Sinh Hung(グエン・シン・フン)	1946年	ゲアン省	博士
国会副議長	Tong Thi Phong(トン・ティ・フォン)	1954年	ソンラ省	学士
国会副議長	Nguyen Thi Kim Ngan(グエン・ティ・キム・ガ)	1954年	ベンチェ省	修士
国会副議長	Uong Chu Luu(ウォン・チュー・リュウ)	1955年	ハティン省	博士
国会副議長	Huynh Ngoc Son(フィン・ゴック・ソン)	1951年	ダナン市	学士
政府				
首相	Nguyen Tan Dung(グエン・タン・ズン)	1949年	カマウ省	学士
◇副首相	Nguyen Xuan Phuc(グエン・スアン・フック)	1954年	クアンナム省	学士
副首相	Hoang Trung Hai(ホアン・チュン・ハーイ)	1959年	タイビン省	修士
副首相	Nguyen Thien Nhan(グエン・ティエン・ニャン)	1953年	チャーヴィン	教授、博士
◇副首相	Vu Van Ninh(ヴ・ヴァン・ニン)	1955年	ナムディン省	修士
国防相	Phung Quang Thanh(フン・クワン・タイン)	1949年	ハノイ市	学士
◇公安相	Tran Dai Quang(チャン・ダイ・クワン)	1956年	ニンビン省	教授、博士
◇文化・スポーツ・観光相	Hoang Tuan Anh(ホアン・トゥアン・アイン)	1952年	ダナン市	学士、技師
◇内務相	Nguyen Thai Binh(グエン・ターイ・ビン)	1954年	チャーヴィン	学士
◇国家銀行総裁	Nguyen Van Binh(グエン・ヴァン・ビン)	1961年	フートオ省	博士
◇労働・傷病兵・社会問題相	Pham Thi Hai Chuyen(ファム・ティ・ハーイ・チュ)	1952年	バクザン省	技師
司法相	Ha Hung Cuong(ハー・フン・クオン)	1953年	ヴィンフック省	副教授-博士
◇建設相	Trinh Dinh Dung(チン・ディン・ズン)	1956年	ヴィンフック省	修士
◇政府官房長官	Vu Duc Dam(ヴ・ドゥック・ダム)	1963年	ハイズオン省	博士
工商相	Vu Huy Hoang(ヴ・フイ・ホアン)	1953年	ハイフォン省	博士
◇財政相	Vuong Dinh Hue(ヴォン・ディン・フエ)	1957年	ゲアン省	教授-博士
教育・訓練相	Pham Vu Luan(ファム・ヴ・ルアン)	1955年	ハノイ市	教授、博士
◇外務相	Pham Binh Minh(ファム・ビン・ミン)	1959年	ナムディン省	修士
農業・農村開発相	Cao Duc Phat(カオ・ドゥック・ファット)	1956年	ナムディン省	博士
民族委員会委員長	Giang Seo Phu(ザン・セオ・フー)	1951年	ラオカイ省	学士
◇資源・環境相	Nguyen Minh Quang(グエン・ミン・クワン)	1953年	ハティン省	技師
◇科学・技術相	Nguyen Quan(グエン・クワン)	1955年	タイビン省	博士
◇情報・通信相	Nguyen Bac Son(グエン・バック・ソン)	1953年	ハノイ市	博士
◇交通・運輸相	Dinh La Thang(ディン・ラー・タイン)	1960年	ナムディン省	博士
◇保健相	Nguyen Thi Kim Tien(グエン・ティ・キム・ティエン)	1959年	ハティン省	副教授、博士
◇政府監査院院長	Huynh Phong Tranh(フィン・フォン・チャイン)	1955年	ハウザン省	学士
◇計画・投資相	Bui Quang Vinh(ブイ・クワン・ヴィン)	1953年	ハノイ市	学士

(出所) 各種資料に基づき、筆者作成。